2017-18年度ライオン誌日本語版委員会
第9回会議　報告書

日　時：2018年4月4日（水）13:30～15:40

場　所：一般社団法人 日本ライオンズ 事務所

出席者：委員長　佐々木忠康（331複合地区／北海道・小樽ライオンズクラブ）
編集長　矢野 敏明（336複合地区／島根県・松江葵ライオンズクラブ）
委員　久津間康允（330複合地区／神奈川県・小田原白梅ライオンズクラブ）
委員　稲岡 敬弘（332複合地区／秋田ライオンズクラブ）
委員　渡邉 信也（333複合地区／新潟県・亀田ライオンズクラブ）
委員　西川 恒彦（334複合地区／静岡県・富士宮ライオンズクラブ）
委員　神﨑 守（335複合地区／京都やわたライオンズクラブ）
委員　小柴 登司（337複合地区／沖縄県・浦添ウェスト ライオンズクラブ）

欠席者：国際理事　中村 泰久（埼玉県・大宮北ライオンズクラブ）
国際理事　佐藤 義雄（長野県・戸倉上山田ライオンズクラブ）
ITアドバイザー　荘 英 隆（東京恵比寿ライオンズクラブ）
ITアドバイザー　辰巳 博昭（兵庫県・神戸須磨ライオンズクラブ）

◉

佐々木委員長の開会あいさつの後、佐々木委員長、矢野編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営（別紙-月次決算報告）

2018年2月度の収支計算書を基に会計担当者から説明があった。今月は印刷版ライオン誌の発行があったため印刷費と発送事務費で約360万円の支出があり、月次では約105万円の赤字となったが、累計では5,032,725円の収支差額が出ている。

●2018-19年度ライオン誌日本語版委員会予算

一般社団法人日本ライオンズに提出する2018-19年度ライオン誌日本語版委員会の予算案を検討し、一部修正の上、これを承認した。

2. 本誌関係

●2018年5･6月号校正

本誌5･6月号特集は「聴覚障害者支援」で、静岡県･富士宮ライオンズクラブが実施した聴覚障害･啓発講演会「手話は言語」の内容を基調原稿とし、カット写真にはこれまで取材した聴覚障害者関連事業の写真を使用している。表紙は同クラブに所属する西川委員に設営して頂き、手話で会話をする聴覚障害者と小学生を撮影させて頂いた。また神﨑委員からの情報提供で、4月8日に実施される京都賀茂ライオンズクラブの「手話劇コンクール」を取材し紹介する。「国際理事だより：佐藤義雄国際理事」、「編集室：久津間康允委員」。国際協会から必須掲載として配信があったLCIF年次報告は、今月のニュース交換センターにも入っていたLCIFの指定記事と共に、この号に掲載する。2本届いていた国際会長メッセージは委員会で内容を検討した結果、環境をテーマにしたメッセージを採用することにした。

ウェブマガジンのニュースに掲載した「LCIFキャンペーン･エリアリーダー研修会」「第1

副地区ガバナー対象のDGEエリア研修」「第3回GAT日本運営会議（西川委員取材）」「スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム･愛知 採火式（西川委員担当）」「334-E地区街頭パレード」はライオンズ･インフォメーション欄に短縮版を掲載する。

●2018年7･8月号台割案

本誌7･8月号特集は「地域活性化」で、大分県･中津沖代ライオンズクラブが毎年開催している「中津みなとふじ祭り」を取材し、表紙も関連するものを撮影する。「国際理事だより：中村泰久国際理事」、「編集室：小柴登司委員」。国際理事会決議事項要約は本部からの配信が間に合えば、この号に掲載する。毎年掲載している「地区ガバナー紹介」は前回会議で決定した通り、隔月発行で実質的にページ数が半分になったことから、略歴を除いた形で、これまで同様、全地区ガバナーをこの号に掲載する。

3. ウェブマガジン関係

●2018年4月号（4月1日更新）出来

4月1日更新のウェブマガジン4月号の出来を確認した。

●2018年5月号以降台割案

ウェブマガジン5月号から7月号までの主要コンテンツについて、内容と取材経費が提出され、承認された。

●「活動報告」掲載基準

クラブから投稿された「活動報告」の掲載基準について意見交換をした。前回会議で決めた通りクラブ例会や周年行事、クラブ間交流などの投稿は除くが、原則、事業の規模や内容にかかわらず掲載対象とする。ただし、周年記念の複数事業や毎月実施している同一事業の連続投稿など、掲載を見送らざるを得ないものも出てくることが予想される。そのため今後の投稿事例を見ながら、適宜、委員会として判断し掲載基準を整備していくこととする。

●「アクティビティ告知･イベント予告」投稿フォーム、掲載方法

矢野編集長から提案があり、サポーターからも同様の要望がある「ライオンズ･カレンダー（仮）」について、掲載方法を検討した。その中で、「国際協会や日本ライオンズ、また複合地区別」「イベントのジャンル別」「イベント詳細の表示」「参加可能なイベントに関しては主催者サイトへのリンクを設置」など、さまざまな意見が出された。次回会議までに各委員がカレンダーに掲載する情報を考えると共に、その表示方法についてもパソコン、スマホ双方で閲覧可能なものを念頭にアイデアをまとめることとした。

4. 2017-18年度主要記事予定

ウェブマガジン5月号以降及び本誌7･8月号の主要記事予定と、4月から5月にかけての取材経費概算が提出され、検討の上これを承認した。現時点でアクティビティ対象施設からの取材許可が得られるか分かっていないものについては代替の取材案も提出され、併せて承認された。

5. その他

●一般社団法人となって以降、広告については会員からの出稿のみを扱うことになっているが、賛助会員など正会員以外からの広告について、法律顧問は運用の問題であるため委員会で決定をとの意見で、今回その取り扱いを審議した。その結果、会員としての権利に制限はあるものの賛助会員も国際会費を支払っているライオンズクラブの会員であり、広告出稿を受け付けることを決定した。

●電子版ライオン誌を制作しているWisebookシステムが、開発したダイレクトクラウド社

からビーガル社へ譲渡されたことに伴い、事業承継に関する手続きを求められている。電子版ライオン誌はアーカイブとしてウェブマガジンでも活用していることから、契約自体は継続するが、ビーガル社から送付されてきた覚書のひな形には金額を含め契約自体の明記がないため、その記載を求めると共に、昨年12月にダイレクトクラウド社から案内があった料金プラン変更の適用時期などを確認した上で、契約継続について事業承継に関する覚書を締結するか、新契約を締結するか判断する。なお、契約者はいずれの場合も一般社団法人日本ライオンズの理事長名で締結して頂く。

●ライオン誌サポーター・アンケートの内容を確認した。今回は本誌3･4月号とウェブ3月号について聞いている。ウェブに関しては、「見やすく好評」「動画ならではの臨場感、空気感を感じられていい」「動画によってウェブ版を進化と捉えられる」とする意見がある一方、「ウェブも見ているが紙の方に傾倒してしまう」「（ウェブにも）目を通したが、紙の方が見やすいし、紙だと読む気になる」「まだまだメンバーへの周知が出来ていないと思うので、例会などで紹介したい」といった意見もあった。

閉会あいさつ　佐々木忠康委員長

【次回以降委員会開催予定】

5 月 7 日（月）　13:30～16:00　第10回会議　日本ライオンズ事務所
6 月 1 日（金）　13:30～16:00　第11回会議　日本ライオンズ事務所

ライオン誌日本語版
2017-18 年度収支計算書

2018年2月

（収入の部）

科目	項目	予算額	当月執行額	累計額	残高	摘要
購読料収入		104,775,000	7,934,467	72,853,208	31,921,792	
	国際協会補助金	48,825,000	3,342,667	36,279,158	12,545,842	
	会費	55,800,000	4,591,800	36,449,400	19,350,600	
	翻訳料補助金	150,000		124,650	25,350	
ライオン誌送料		37,000,000	4,225,418	29,132,876	7,867,124	
広告料収入			71,280	156,816	△ 156,816	
その他収入		1,450,000	66,922	939,508	510,492	
	頒布品収支差額	1,000,000	64,244	408,838	591,162	
	受取利息					
	雑収入	450,000	2,678	530,670	△ 80,670	
特別収入						
	特別の会費					
合計		143,225,000	12,298,087	103,082,408	40,142,592	

（ 支 出 の 部 ）

科目	項目	予算額	当月執行額	累計額	残高	摘要
直接出版費		79,700,000	8,177,595	61,288,787	18,411,213	
	印刷費	25,000,000	2,574,961	19,071,030	5,928,970	注1
	発送事務費	10,250,000	1,027,851	7,555,683	2,694,317	注2
	ライオン誌送料	37,000,000	4,242,683	29,450,663	7,549,337	注3
	旅費交通費	3,500,000		2,586,770	913,230	
	編集関係諸費	200,000	5,400	192,381	7,619	
	原稿料・編集費	3,750,000	326,700	2,432,260	1,317,740	
	広告関係諸費					
	その他					
ﾃﾞｼﾞﾀﾙ版関連費		9,600,000	643,003	2,496,552	7,103,448	
	旅費交通費	2,000,000	222,300	894,635	1,105,365	
	原稿料・編集費	7,000,000	344,520	677,160	6,322,840	
	ｻｰﾊﾞｰ使用費	600,000	69,768	558,144	41,856	
	その他		6,415	366,613	△ 366,613	
委員会費		4,650,000	362,981	2,508,509	2,141,491	
	旅費交通費	4,500,000	356,960	2,484,597	2,015,403	
	会議費					
	雑費	150,000	6,021	23,912	126,088	
事務費		48,815,000	4,163,187	31,755,835	17,059,165	
	人件費	30,000,000	2,498,169	19,985,352	10,014,648	
	福利厚生費	5,150,000	386,415	3,009,770	2,140,230	
	旅費交通費	1,250,000	103,568	828,714	421,286	
	通信費	1,350,000	267,463	959,517	390,483	注4
	事務用品費	600,000	33,373	350,932	249,068	
	図書費			1,836	△ 1,836	
	備品・消耗品費	50,000	74,413	106,761	△ 56,761	Macmini1台73,548円含む
	ＩＴ関連費	1,800,000	111,888	1,003,104	796,896	
	支払手数料	65,000	3,834	32,176	32,824	
	保守・修繕費					
	借室料	7,500,000	624,056	4,992,448	2,507,552	
	水道光熱料	400,000	31,388	253,155	146,845	
	租税公課	50,000			50,000	
	減価償却費	250,000			250,000	
	雑費	350,000	28,620	232,070	117,930	
	固定資産廃棄損					
(収入)-(支出)		460,000			460,000	
当期収支差額金			△ 1,048,679	5,032,725	△ 5,032,725	
合計		143,225,000	12,298,087	103,082,408	40,142,592	

注1　3・4月号93,300部発行。@25.55

注2　3・4月号発送手数　個人発送（1978ｸﾗﾌﾞ・59,962冊）647,590円
　　　　　　　　　　　　ｸﾗﾌﾞ発送（1070ｸﾗﾌﾞ・32,178冊）318,900円
　　3・4月号掲載誌、有料誌、PR誌送料送料及び発送手数料他、61,361円

注3　3・4月号送料：個人発送@62×59,962人＝3,717,644円、ｸﾗﾌﾞ発送（1070件）525,039円

注4　2017年度下半期請求書発送料　208,389円含む